

創立120周年記念事業の記念式典の日である11月22日がいよいよ目前に迫ってきました。『ならやま』では、数回にわたって「写真で見る大学120年」として、これまでの奈良教育大学の歩みをお伝えしてきました。そこで今回は、これからの奈良教育大学の歩みについて触れてみたいと思います。

まず最初に、120周年を迎えたこの機会に新しく制定された、奈良教育大学のイメージキャラクター「なっきょん」を簡単に紹介します。本学学生、教職員をはじめとして、OB・OGの皆さんからアイデアをいただくために広く募集したところ、大学への想いが込められた、多数のデザイン・愛称の応募がありました。

審査委員会の選考によって、キャラクターデザインを選ばせていただきました。作品制作者によると、奈良のシンボルでもある鹿をモチーフにして、教員として

「育つ」「育てる」イメージを、その角(双葉)に表現したとのこと。その姿には、ほのぼのとした優しさや芯の通った強さを漂わせています。これは、将来教員・教育者を目指す本学の学生の姿に重ねることもできます。卒業してようやく新芽になったこの双葉を、さらに成長させてほしいと願うところです。鹿の角は、成長の証として1年に一度生え替わります。将来社会に出た後も、この「なっきょん」を思い出し、初心を忘れずにいてほしいものです。(関連掲載：14ページ)

さて最近、「大学全人時代」を迎えた大学教育、国際化時代に対応した大学教育など、あらためて大学教育の質が問われるようになりました。「学士力」と称されることもあるのですが、それぞれの学部・教育目標に沿って、学生の皆さんが獲得した知識・技能を明確にし、4年間の学びの成果をより確かなものにしよう、とい

うものです。「知識・技能」と言いましたが、その基盤には教養豊かな人間性が涵養されているべきことは当然です。

『ならやま』でも繰り返し紹介してきたので、詳しいことは省きますが、本学では、新任教師に求められる目標資質能力基準に基づく「カリキュラム・フレームワーク(CUFEET: Curriculum Framework for Expert Teachers)」に根ざした、教員養成教育の構築に取り組んでいます。学生の皆さんが、教師としての実践的な力、教師として自己成長できる力を、4年間の教育課程の中で確実に身につけることを目指しています。

また、文部科学省の大学教育改革の支援プログラム(GP)に、新たに3件の申請が採択されました。その中には、新しく設置された教職大学院が提案した「実習到達度を明確にした実践的指導と評価法(宮崎大学との共同申請)」、ならびに

「質の高い大学教育推進プログラム」に採択された「教員養成大学による地域食育推進プログラム」があります。前者は、教職大学院で展開されている、地域の学校での高度な教育実習の到達目標を明確にして、その評価方法を開発すること、後者は、正しい食生活や食の安全についての関心が高まっている中で、子どもたちの食教育を指導できる教員の養成のためのプログラムの開発を目指しています。

学部・大学院ともに、教育大学にとって喫緊の課題を取り上げ重点的に取り組むことによって、より充実した教育プログラムを提案したいと思います。師範学校として創立以来120年、大学における教員養成を担ってほぼ60年。奈良教育大学は、名実ともに新しい時代に挑戦を続けています。

THE PRESIDENT COLUMN

これからの奈良教育大学



柳澤 保徳
奈良教育大学 学長

3 【学長コラム】

これからの奈良教育大学

学長 柳澤 保徳

4 【特別座談会】

奈良教育大学への期待

奈良県教育委員会教育長 富岡 将人
学長 柳澤 保徳

6 写真で見る大学120年 その3 平成期／奈良教育大学120年の歩み

8 新薬師寺旧境内の発掘調査

理科教育講座 准教授 金原 正明

9 【ラボ・レター】

児を育み母体を保護するカルシウム栄養の動態を探る 人と人の関わり合いと教育

生活科学教育講座 教授 米山 京子
学校教育講座 准教授 出口 拓彦

10 【ひと・あれ・これ】

知の最先端で母校を振り返る 子どもたちの笑顔は最高

東京大学東洋文化研究所 准教授 真鍋 祐子
奈良市立図書館 司書 西 郁代

11 【留学生レポート】

留学を振り返って 日本での留学生活

学校教育教員養成課程教育・発達基礎コース 4回生 久米 知世
総合教育課程環境教育コース 1回生 ソ ロ ン ガ

12 【附属校園では】

附属学校部の設置とその役割について

附属学校部長 生田 周二

幼稚園 あふれる秋の自然を取り入れて

附属幼稚園 副園長 上野由利子

小学校 親と教師との共同で学校づくり

附属小学校 教諭 奥本 文夫

中学校 大学研究室訪問

附属中学校 三年学年主任 奥原 牧

14 イメージキャラクター「なっきょん」誕生！

15 【課外活動】

〈硬式野球部〉楽しむことを大切に 〈劇団キラキラ座〉輝こう

主将 寺井 宏文
部長 糸井 茂裕

16 【大学の仲間たち】

ヤマトシジミ

自然環境教育センター長 前田喜四雄

表紙紹介

精密日時計

古代エジプトでは、太陽の動きを「時」の基準としていたとのこと。無論、現在の私たちの生活も太陽暦、つまりは太陽の動きを生活の時間軸に置き、日の出とともに新たな1日を迎えるという、古代と変わることなく、太陽に「時」の依存を続けています。

本学キャンパス内にある附属小学校のグラウンドの一角では、精巧な造りの日時計が日々時を刻んでいます。日の出とともに、その輝く盤面にくつきりとした影を伸ばし、私たちに正確な時間を提供してくれています。

この精密日時計は、昭和41年2月、当時のPTA会長・河合庄治氏から寄贈されたもので、当時の附属小学校にて教鞭をとっていた理科教師らによって、現在の場所に設置され、児童たちの教材として活用を始めたとのこと。

さて、本学は今年、明治21年(1888年)の奈良県尋常師範学校創立から数えて120周年を迎えます。今年の創立記念日までに、太陽は新たな1日の始まりを告げるべく、43,830回も昇っては本学を照らし続けてきています。偉大なる太陽に、この120年はどう映ったのでしょうか。

【解説】 企画・広報室

表紙題字 名誉教授

池田桂鳳